

< Aコース (為替ヘッジあり) >

第4期末 (2016年6月20日)	
基準価額	10,917円
純資産総額	14億円
騰落率	△7.4%
分配金	800円

< Bコース (為替ヘッジなし) >

第4期末 (2016年6月20日)	
基準価額	10,423円
純資産総額	23億円
騰落率	△19.8%
分配金	400円

ニッセイ・ワールドスポーツ・ファンド -メダリスト-

Aコース (為替ヘッジあり) / Bコース (為替ヘッジなし)

追加型投信 / 内外 / 株式

交付運用報告書

作成対象期間：2015年6月19日～2016年6月20日

第4期 (決算日 2016年6月20日)

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて「ニッセイ・ワールドスポーツ・ファンド -メダリスト- Aコース (為替ヘッジあり) / Bコース (為替ヘッジなし)」は、このたび第4期の決算を行いました。

各ファンドは、「ニッセイ・ワールドスポーツマザーファンド」受益証券への投資を通じて、実質的に主として日本を含む世界各国の「スポーツビジネス関連企業」の株式へ投資を行い、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行いました。ここに運用状況をご報告申し上げます。

今後とも是非ご継続頂き、いっそうのご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

商品内容、運用状況などについてのお問い合わせ先

 **0120-762-506**(コールセンター)

受付時間は営業日の午前9時から午後5時までです。

 <http://www.nam.co.jp/>

お客様の口座内容に関するご照会は、お申し込みされた販売会社にお問い合わせください。



ニッセイアセットマネジメント株式会社

NISSAY
ASSET MANAGEMENT

東京都千代田区丸の内1-6-6

○各ファンドは、投資信託約款において、運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めています。上記ホームページの「基準価額一覧」等から各ファンドのファンド名称を選択することにより、「商品ページ」において、運用報告書(全体版)をダウンロードすることができます。

○運用報告書(全体版)は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

運用経過

(2015年6月19日から2016年6月20日まで)

基準価額等の推移



第4期首	12,652円
第4期末	10,917円
既払分配金	800円
騰落率 (分配金再投資ベース)	△7.4%

(注1) 税引前分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、前期末の基準価額にあわせて再指数化しています。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

■基準価額の変動要因

当期の基準価額は、世界株式市場が下落したことに加えて、当ファンドで組み入れているアパレルメーカーなどの銘柄の業績に暖冬による販売への影響が出たことで株価が下落したことなどが要因となり、下落しました。

個別銘柄では、スポーツ専門チャンネルである「ESPN」を傘下にもつ世界的なエンターテインメント会社である米国の「ウォルト・ディズニー」が基準価額の下落に最も寄与しました。同社の主力事業の一つであるメディアネットワーク事業の「ESPN」の加入者数減少や、期中の業績が市場予想を下回ったことなどが嫌気され、株価が下落しました。一方で、ドイツの世界第2位のスポーツ用品メーカーである「アディダス」は、「スーパースター」や「スタンスミス」などのカジュアル・アスレチック・シューズブランドの販売が世界的に好調となったことや、2016年のリオデジャネイロ五輪やサッカー欧州選手権(UEFA EURO2016)など主要スポーツイベントがけん引役となり期中に業績見通しを引き上げたこと、さらに収益性や運転資本改善などの経営効率追求姿勢なども好感され、株価が上昇しました。

1 万口当たりの費用明細

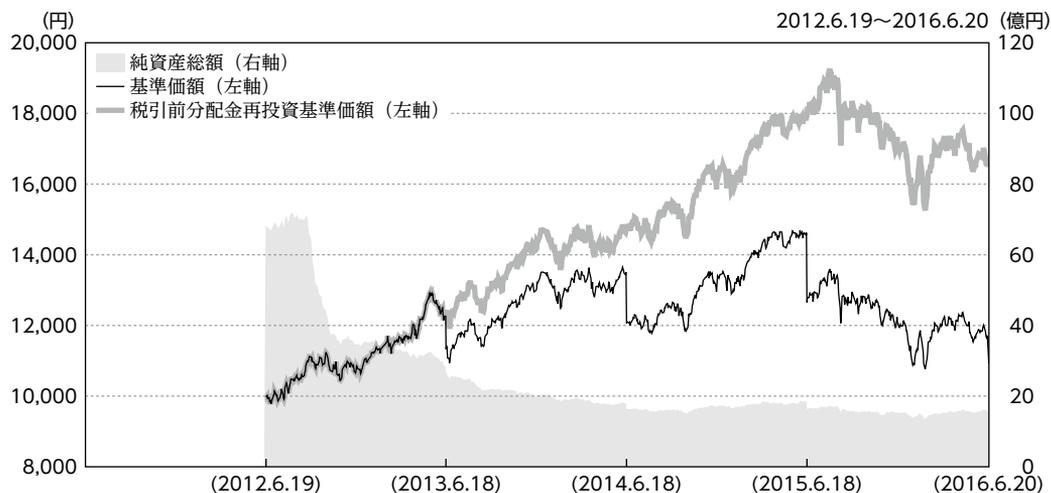
項目	第 4 期		項目の概要
	2015年6月19日～2016年6月20日		
	金額	比率	
信託報酬	222円	1.813%	$\text{信託報酬} = \text{期中の平均基準価額} \times \text{信託報酬率} \times \frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は12,262円です。
(投信会社)	(107)	(0.869)	ファンドの運用、法定書類等の作成、基準価額の算出等の対価 購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価 ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等の対価
(販売会社)	(107)	(0.869)	
(受託銀行)	(9)	(0.076)	
売買委託手数料	7	0.056	$\text{売買委託手数料} = \text{期中の売買委託手数料} / \text{期中の平均受益権口数}$ 売買委託手数料：有価証券等の売買・取引の際に仲介人に支払う手数料
(株式)	(7)	(0.054)	
(投資信託証券)	(0)	(0.002)	
有価証券取引税	5	0.039	$\text{有価証券取引税} = \text{期中の有価証券取引税} / \text{期中の平均受益権口数}$ 有価証券取引税：有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	(5)	(0.039)	
(投資信託証券)	(0)	(0.000)	
その他費用	5	0.039	$\text{その他費用} = \text{期中のその他費用} / \text{期中の平均受益権口数}$ 公募投資信託は、外部の監査法人等によるファンドの会計監査が義務付けられているため、当該監査にかかる監査法人等に支払う費用 ・信託事務の諸費用：信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用 ・借入金の利息：受託会社等から一時的に資金を借り入れた場合（立替金も含む）に発生する利息
(監査費用)	(1)	(0.010)	
(その他)	(4)	(0.030)	
合計	239	1.947	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

最近5年間の基準価額等の推移

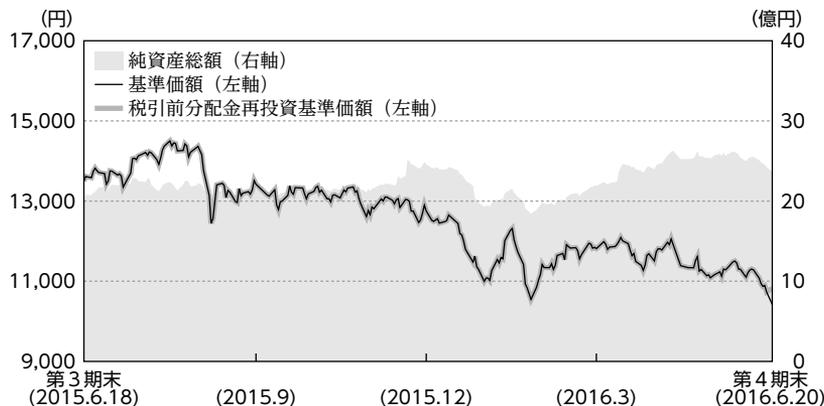


決算日		2012年6月19日	2013年6月18日	2014年6月18日	2015年6月18日	2016年6月20日
基準価額 (分配落)	(円)	10,000	11,330	12,057	12,652	10,917
期間分配金合計 (税引前)	(円)	—	1,000	1,500	2,000	800
税引前分配金再投資基準価額の騰落率	(%)	—	23.3	19.7	21.5	△7.4
純資産総額	(百万円)	6,793	2,633	1,608	1,601	1,481

(注1) 当ファンドの設定日は2012年6月19日です。

(注2) 設定日の基準価額は当初設定価額を、純資産総額は当初設定元本を記載しています。

基準価額等の推移



第4期首	13,503円
第4期末	10,423円
既払分配金	400円
騰落率 (分配金再投資ベース)	△19.8%

(注1) 税引前分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、前期末の基準価額にあわせて再指数化しています。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

■基準価額の主な変動要因

当期の基準価額は、世界株式市場が下落したことに加えて、当ファンドで組み入れているアパレルメーカーなどの銘柄の業績に暖冬による販売への影響が出たことで株価が下落したことや、米ドル安円高の影響も加わったことから、下落しました。

個別銘柄では、スポーツ専門チャンネルである「ESPN」を傘下に持つ世界的なエンターテイメント会社である米国の「ウォルト・ディズニー」が基準価額の下落に最も寄与しました。同社の主力事業の一つであるメディアネットワーク事業の「ESPN」の加入者数減少や、期中の業績が市場予想を下回ったことなどが嫌気され、株価が下落しました。一方で、ドイツの世界第2位のスポーツ用品メーカーである「アディダス」は、「スーパースター」や「スタンスミス」などのカジュアル・アスレチック・シューズブランドの販売が世界的に好調となったことや、2016年のリオデジャネイロ五輪やサッカー欧州選手権2016(UEFA EURO2016)など主要スポーツイベントがけん引役となり期中に業績見通しを引き上げたこと、さらに収益性や運転資本改善などの経営効率追求姿勢なども好感され、株価が上昇しました。

1 万口当たりの費用明細

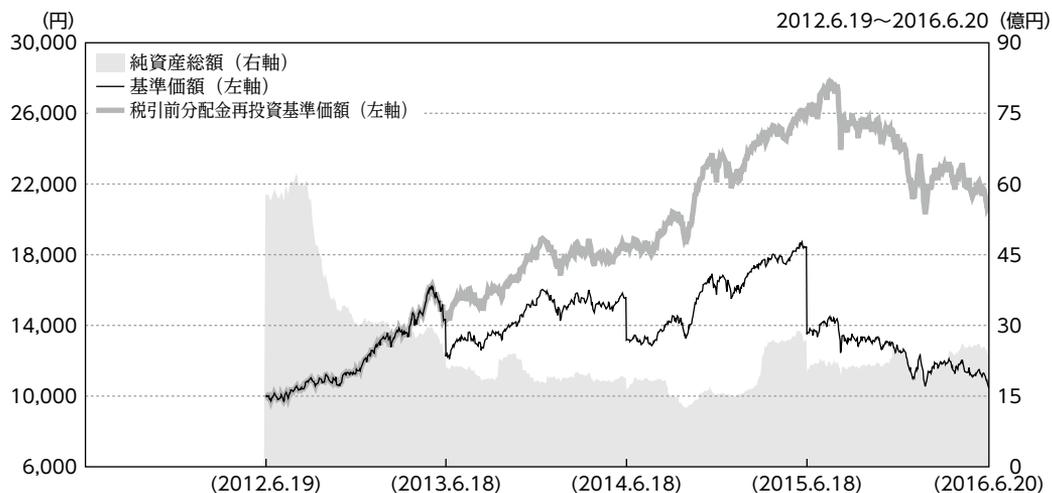
項目	第 4 期		項目の概要
	2015年6月19日～2016年6月20日		
	金額	比率	
信託報酬	227円	1.813%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率× $\frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は12,503円です。
(投信会社)	(109)	(0.869)	ファンドの運用、法定書類等の作成、基準価額の算出等の対価 購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
(販売会社)	(109)	(0.869)	
(受託銀行)	(10)	(0.076)	
売買委託手数料	7	0.058	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料：有価証券等の売買・取引の際に仲介人に支払う手数料
(株式)	(7)	(0.056)	
(投資信託証券)	(0)	(0.002)	
有価証券取引税	5	0.040	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税：有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	(5)	(0.040)	
(投資信託証券)	(0)	(0.000)	
その他費用	5	0.038	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 公募投資信託は、外部の監査法人等によるファンドの会計監査が義務付けられているため、当該監査にかかる監査法人等に支払う費用 ・信託事務の諸費用：信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用 ・借入金の利息：受託会社等から一時的に資金を借り入れた場合（立替金も含む）に発生する利息
(監査費用)	(1)	(0.009)	
(その他)	(4)	(0.029)	
合計	244	1.949	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

最近5年間の基準価額等の推移

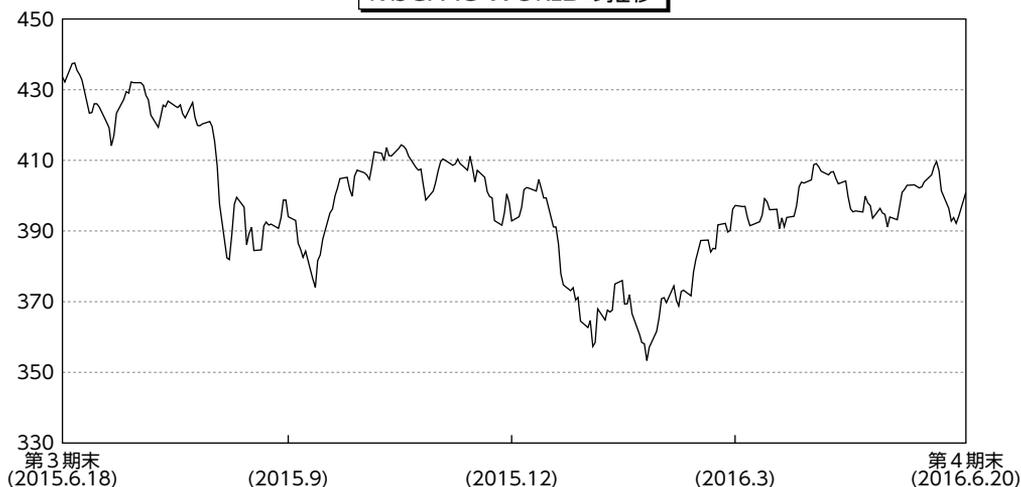


決算日		2012年6月19日	2013年6月18日	2014年6月18日	2015年6月18日	2016年6月20日
基準価額 (分配落)	(円)	10,000	12,240	13,173	13,503	10,423
期間分配金合計 (税引前)	(円)	—	2,200	2,500	5,000	400
税引前分配金再投資基準価額の騰落率	(%)	—	44.4	28.0	40.5	△19.8
純資産総額	(百万円)	5,774	2,061	1,597	1,962	2,365

(注1) 当ファンドの設定日は2012年6月19日です。

(注2) 設定日の基準価額は当初設定価額を、純資産総額は当初設定元本を記載しています。

MSCI AC WORLDの推移



(注) 指数はブルームバーグのデータを使用しています。

当期の世界株式市場は、欧米主要企業の底堅い業績発表やM&A（買収・合併）などの活発な企業活動に加え、米国の追加利上げ先送り観測や欧州中央銀行（ECB）の追加金融緩和など主要中央銀行の金融政策が下支えとなったものの、世界的な景気減速懸念や商品価格の乱高下、さらに一部信用リスクの拡大や地政学リスクの高まりなどを背景に世界的に投資家のリスク回避姿勢が大きく強まる場面もあり、期を通じて見ると下落しました。

期初以降、中国人民銀行（中央銀行）による人民元の基準値切り下げに端を発した中国をはじめとする新興国に対する懸念に加え、世界的な製造業の景況感悪化、さらにフォルクスワーゲンの排ガス規制不正問題やスイスの資源商社の財務懸念により、世界的に投資家のリスク回避姿勢が強まり株式市場は大きく下落しました。

その後、欧米主要企業の業績は底堅いものが確認されたことや、相次ぐ大型のM&Aに加えて、ECB・中国人民銀行による追加金融緩和、米連邦準備制度理事会（FRB）の慎重な利上げ見通しが好感され、買い戻しが優勢となりました。一方で、需給見通しから原油価格が乱高下したことや、ハイイールド債券市場の混乱等を受けた信用リスクへの波及懸念、表面化した欧州の大手金融機関に対する資本積み増しの必要性、さらに製造業を中心とした世界的な景気後退懸念が浮上したことなどから投資家のリスク回避姿勢が再び加速する展開となりました。

期末にかけては、米国の追加利上げの先送り観測やECBの追加金融緩和などにより信用リスク懸念が縮小したことや、商品市況も回復したことなどが好感され、投資家のリスク回避姿勢が緩和、株式市場は落ち着きを取り戻す展開となりました。

ポートフォリオ

■各ファンド

当期もマザーファンド受益証券の組入比率を原則として高位に保つ運用を行いました。なお、《Aコース（為替ヘッジあり）》は、外貨建資産について原則として対円で為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図りました。

■マザーファンド

主に日本を含む世界各国の「スポーツビジネス関連企業」の株式へ投資を行い、信託財産の成長を図ることを目標に運用を行いました。

<個別銘柄>

当期末において、世界的に著名なスポーツ用品メーカーや、スポーツ分野に強い施設運営企業や賭博サービス（ブックメーカー）などのユニークな特性を持った企業を上位に保有しています。

組み入れトップの「ナイキ」は、「NIKE」ブランドのほかにも「コンバース」や「エア ジョーダン」等の有力ブランドを展開する世界最大の総合スポーツ用品メーカーです。今年の後半には自動で靴紐を結ぶ革新的シューズの「Hyper Adapt 1.0」をリリースするなど製品の革新力は群を抜いており、「エア ジョーダン」や「エア マックス」シリーズのシューズでは圧倒的な人気から高価格商品として販売するなど総合ブランド力はスポーツ用品メーカーの中においても突出していると考えます。また、リーン生産方式（プロセス管理を徹底して効率化した生産方式）や自動縫機、3Dプリンティング等を活用した製造工程の効率化にも長けており、独自のオンライン販売網を構築するなど経営面でも大きな魅力を持った企業と判断し、最上位に保有しています。

次位の「アディダス」は、「adidas」「Reebok」等の有力ブランドを展開する世界第2位の総合スポーツ用品メーカーです。近年は「ナイキ」や新興勢力の「アンダーアーマー」に押される局面もありましたが、得意とするサッカー用品分野やカジュアル・アスレチック商品などで巻き返しをはかっており、またゴルフブランドの「Taylor Made」の売却を決断するなど積極的なリストラクチャリングにも取り組んでいます。同社も生産方式ではロボットやデジタル技術を積極的に活用するなど、経営効率を追求する取り組みを積極的に行っており、魅力度が高いと判断しています。

<国別配分>

当期末では、組入比率の高い順にアメリカ（60.7%）、ドイツ（9.9%）、日本（7.4%）としています。

<通貨別配分>

当期末では、組入比率の高い順に米ドル（67.6%）、ユーロ（23.1%）、円（4.2%）としています。

（注）比率は対純資産総額比です。

ベンチマークとの差異

■Aコース（為替ヘッジあり）

当ファンドはマザーファンド受益証券の組み入れを通じ、日本を含む世界各国の「スポーツビジネス関連企業」の株式に投資を行います。このため、コンセプトに適った指数が存在しないことからベンチマークなどを設けていません。

■Bコース（為替ヘッジなし）

当ファンドはマザーファンド受益証券の組み入れを通じ、日本を含む世界各国の「スポーツビジネス関連企業」の株式に投資を行います。このため、コンセプトに適った指数が存在しないことからベンチマークなどを設けていません。

分配金

当期の分配金は、各ファンドとも基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を考慮の上、下表の通りとさせていただきます。

なお、分配に充てずに信託財産に留保した収益につきましては、元本部分と同一の運用を行います。

■分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	当期	
	2015年6月19日～2016年6月20日	
	Aコース（為替ヘッジあり）	Bコース（為替ヘッジなし）
当期分配金（税引前）	800円	400円
対基準価額比率	6.83%	3.70%
当期の収益	—	—
当期の収益以外	800円	400円
翌期繰越分配対象額	1,854円	3,112円

（注1）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切り捨てで算出しているため、合計が当期分配金と一致しない場合があります。

（注2）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

<課税上の取り扱いについて>

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、「普通分配金」と「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となり、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）、残りの部分が普通分配金となります。
- ・受益者は普通分配金に対し課税されます。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合、個別元本から元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の新しい個別元本となります。

今後の運用方針

■各ファンド

引き続き、ニッセイ・ワールドスポーツマザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に主として日本を含む世界各国の「スポーツビジネス関連企業」の株式へ投資を行い、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。なお《Aコース（為替ヘッジあり）》は、外貨建資産について原則として対円で為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図ります。

■マザーファンド

2016年は8月にブラジルのリオデジャネイロで五輪が開催されることや、サッカーの注目大会であるUEFA EURO2016やコパ・アメリカなど世界中で大きなスポーツイベントが行われることからスポーツビジネス関連市場の一段の飛躍の年になると見込まれています。

スポーツは、国や地域、年齢、性別、所得水準を問わず万人に楽しまれている「最もグローバル化された産業」の一つであり、世界人口の増加やスポーツイベントの開催とともに成長し続けるスポーツビジネスは、「永続性のある産業」という見方に変更はありません。新興国では、所得増加が消費の質的変化をもたらしており、スポーツビジネス関連市場の急速な拡大が予想されます。また先進国においても、健康意識や余暇需要の高まりから、スポーツビジネス関連市場は安定した成長が期待できます。日本においてもスポーツビジネス関連の国内市場規模を諸外国並み（GDP比約3%）に引き上げることが政府目標として掲げられるなど、明確な成長産業として位置づけられるようになってきました。

「Brexit」（イギリスのEU離脱）により金融市場が大きく動揺を示すなど、EUの行方や米国の大統領選挙など政治関連の混乱は続く可能性が高く、世界的な景気懸念もくすぶり続ける可能性はあるものの、物価の上昇が抑制されている恩恵やサービス業が堅調さを維持していることから消費主導による経済成長は続く可能性が高く、その中でスポーツビジネス関連市場は着実な成長が続くと想定しています。

今後も数々のスポーツイベントを控え、産業の裾野は広がり続けています。スポーツビジネス関連市場は企業にとって明確な成長分野となっており、ブランド力が高く、新しい技術を駆使した魅力的な製品や機会、スポーツを楽しむ価値を提供できる企業の収益はこれまで以上に増加していくことが期待されます。健康意識の高まりからフィットネスジムが新興国でも身近なものとなっていることや、ランニングが世界で最も親しまれているスポーツになっていること、さらにヨガは世界で800億ドル（約8兆円）市場に拡大していることなど、老若男女問わず長く共通に楽しめるスポーツが市場規模を大きく広げています。またアウトドアについても、キャンプやトレッキングなど広い意味でのスポーツとして楽しめる機会が広がっています。

上記環境認識の下、当マザーファンドにおいては、確実な業績成長が期待できるスポーツビジネス関連銘柄を厳選し、冷静に経営戦略や収益力、またブランド力を見極め、割安で長期的に利益成長の見込みが高い企業に投資を行います。スポーツビジネスは豊かな投資機会に恵まれていることから、今後も成長テーマを持つ企業とミーティングを行い、魅力的な企業を選別、分析した上で投資を行う方針です。中には短期的な利益成長が見込まれない企業が含まれる可能性もありますが、将来を見据えて十分な調査を行い、株価水準を検討した上で投資を行います。

ファンドデータ

ニッセイ・ワールドスポーツ・ファンド－メダリストー Aコース (為替ヘッジあり) の組入資産の内容

■組入ファンド

	第4期末
	2016年6月20日
ニッセイ・ワールドスポーツマザーファンド	97.1%

(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

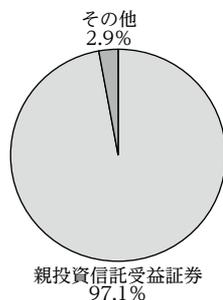
(注2) 組入全ファンドを記載しています。

■純資産等

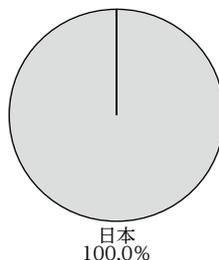
項目	第4期末
	2016年6月20日
純資産総額	1,481,180,625円
受益権総口数	1,356,819,882口
1万口当たり基準価額	10,917円

(注) 当期間中における追加設定元本額は293,662,623円、同解約元本額は202,373,358円です。

■資産別配分



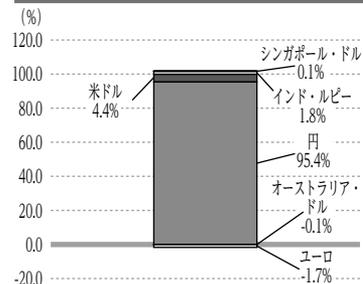
■国別配分



(注1) 資産別・国別・通貨別配分の比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 通貨別配分については、実質組入比率を記載しています。

■通貨別配分



ニッセイ・ワールドスポーツ・ファンドーメダリストー Bコース（為替ヘッジなし）の組入資産の内容

■組入ファンド

	第4期末
	2016年6月20日
ニッセイ・ワールドスポーツザーファンド	98.1%

(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

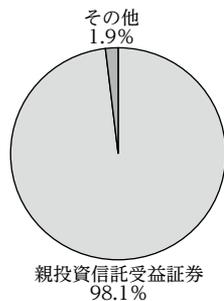
(注2) 組入全ファンドを記載しています。

■純資産等

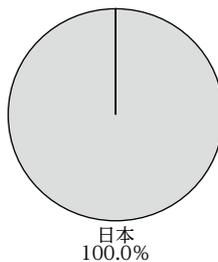
項目	第4期末
	2016年6月20日
純資産総額	2,365,867,674円
受益権総口数	2,269,936,565口
1万口当たり基準価額	10,423円

(注) 当期間中における追加設定元本額は1,731,572,401円、同解約元本額は915,196,975円です。

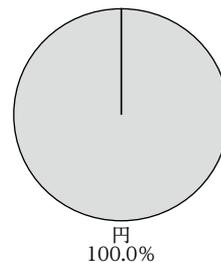
■資産別配分



■国別配分



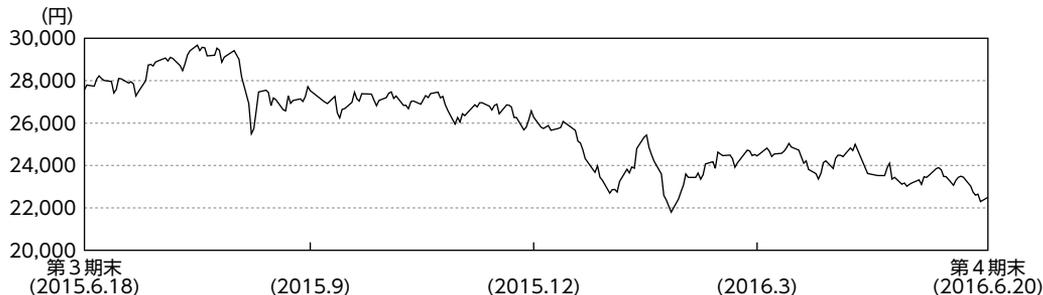
■通貨別配分



(注) 資産別・国別・通貨別配分の比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

ニッセイ・ワールドスポーツマザーファンドの概要

■基準価額の推移



■上位銘柄

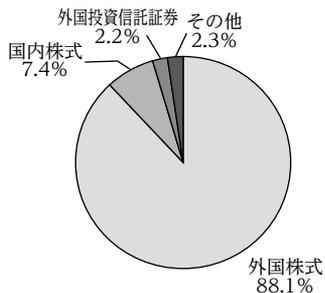
銘柄名	通貨	比率
NIKE INC	米ドル	8.1%
ADIDAS AG	ユーロ	7.7
WALT DISNEY CO	米ドル	7.0
MADISON SQUARE GARDEN CO- A	米ドル	5.0
COLUMBIA SPORTSWEAR CO	米ドル	4.8
AMER SPORTS OYJ	ユーロ	4.8
NEWELL BRANDS INC	米ドル	4.4
VF CORP	米ドル	4.4
PADDY POWER BETFAIR PLC	ユーロ	4.2
FOOT LOCKER INC	米ドル	4.2
組入銘柄数		34

■1万口当たりの費用明細

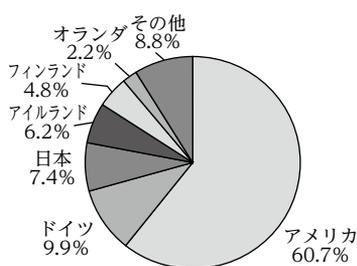
(2015.6.19~2016.6.20)

項目	金額
売買委託手数料 (株式)	15円 (14)
(投資信託証券)	(0)
有価証券取引税 (株式)	10 (10)
(投資信託証券)	(0)
その他費用 (その他)	8 (8)
合計	32

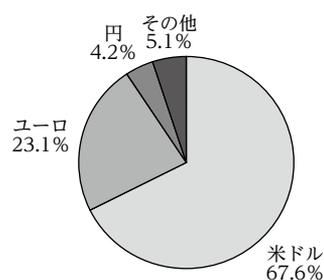
■資産別配分



■国別配分



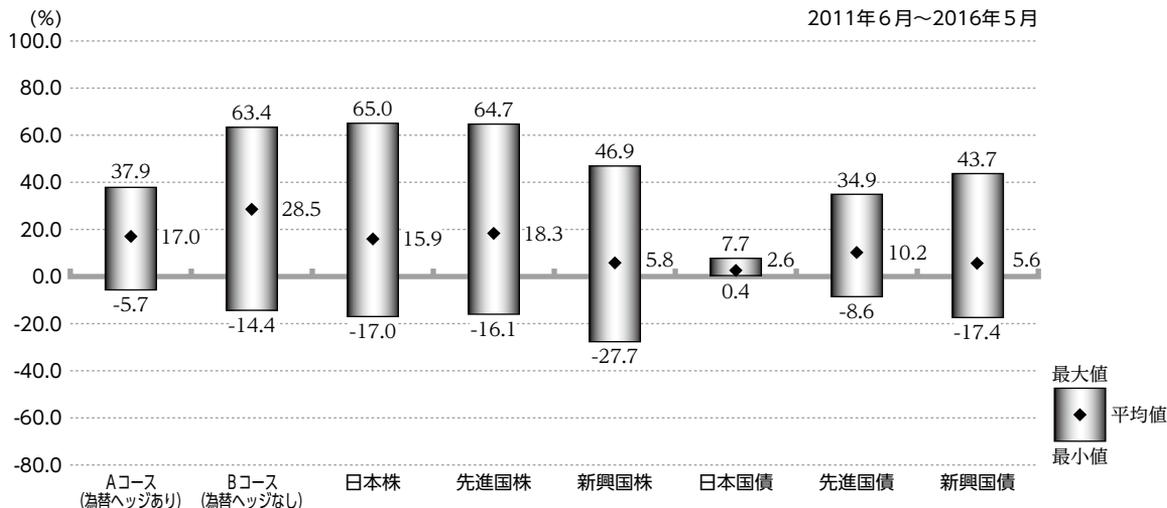
■通貨別配分



- (注1) 基準価額の推移および1万口当たりの費用明細は、マザーファンドの直近の決算期のものであります。費用項目の概要については2ページをご参照ください。
- (注2) 上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分は、マザーファンド決算日(2016年6月20日現在)のものであり、比率はマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。
- (注3) 全銘柄に関する詳細な情報につきましては、運用報告書(全体版)の組入有価証券明細表をご参照ください。

参考情報

■代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(注1) 上記は、各ファンドの騰落率(税引前分配金再投資基準価額騰落率)と代表的な資産クラスの騰落率を比較したものであり、各資産クラスは各ファンドの投資対象を表しているものではありません。

(注2) 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を、各ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものであり、決算日に対応した数値とは異なります。

(注3) 各ファンドについては設定日以降のデータが5年分に満たないため、実在するデータのみの記載となっています。したがって、代表的な資産クラスとの比較対象期間が異なります。

<代表的な資産クラスにおける各資産クラスの指数>

- 日本株・・・TOPIX (東証株価指数) (配当込み)
- 先進国株・・・MSCI コクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)
- 新興国株・・・MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)
- 日本国債・・・NOMURA-BPI 国債
- 先進国債・・・シティ世界国債インデックス (除く日本、円ベース)
- 新興国債・・・JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド (円ベース)

- すべての資産クラスが各ファンドの投資対象とは限りません。
- 海外の指数は、「為替ヘッジなし (対円)」の指数を採用しています。

- TOPIX (東証株価指数) は、株式会社東京証券取引所の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利は、株式会社東京証券取引所が有しています。
- MSCI コクサイ・インデックスは、MSCI Inc.が公表している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権、その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- MSCI エマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.が公表している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権、その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- NOMURA-BPI 国債とは、野村證券株式会社が公表している指数で、その知的財産は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、各ファンドの運用成果等に関し、一切責任を負いません。
- シティ世界国債インデックスは、Citigroup Index LLCが開発した債券指数で、著作権、商標権、知的財産権、その他一切の権利は、Citigroup Index LLCに帰属します。
- JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイドは、JPモルガン社が算出する債券インデックスであり、その著作権および知的財産権は同社に帰属します。

お知らせ

■運用体制の変更について

代表取締役社長に赤林富二が就任し、前代表取締役社長 宇治原潔は代表取締役会長に就任しました。
(2016年4月1日)

各ファンドの概要

		Aコース（為替ヘッジあり）	Bコース（為替ヘッジなし）
商 品 分 類		追加型投信／内外／株式	
信 託 期 間		2012年6月19日～2022年6月20日	
運 用 方 針		ニッセイ・ワールドスポーツマザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に主として日本を含む世界各国の「スポーツビジネス関連企業」の株式へ投資を行い、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。	
		実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行うことにより、為替変動リスクの低減を図ります。	実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主要運用対象	ニッセイ・ワールドスポーツ・ファンド －メダリスト－	ニッセイ・ワールドスポーツマザーファンド受益証券	
	ニッセイ・ワールドスポーツマザーファンド	日本を含む世界各国の株式	
運用方法	ニッセイ・ワールドスポーツ・ファンド －メダリスト－	以下の様な投資制限のもと運用を行います。 ・株式への実質投資割合には、制限を設けません。 ・外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。	
	ニッセイ・ワールドスポーツマザーファンド	以下の様な投資制限のもと運用を行います。 ・株式への投資割合には、制限を設けません。 ・外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。	
分 配 方 針		毎決算時に、原則として経費控除後の配当等収益および売買益等の全額を対象として、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないこともあります。	